

第11回全国書写書道総合大会 令和4年度全国硬筆コンクール

主催 一般社団法人日本書字文化協会
共催 公益財団法人文字・活字文化推進機構
後援 文部科学省他

【大賞】

埼玉県・大東文化大学2年
大平 知雅

葛藤と納得

私は、何事においても納得できないと気持ちが乗らなくて葛藤してしまいます。でも、そんな自分も大学生になって少し変化してきたように思います。それは書道においても同じで、最近では自分の作品を見る目も変わったように思います。

今回、席書大会では淡墨で仮名を書きましたが、仕上げた2枚の作品を選ぶ際、とても迷いました。1枚は全体が整って線もきれいに書けたのですが、もう1枚は最後になって墨がなくなり、線は割れ、揺れて失敗と思ったのです。これまでの私ならきれいに書けた方を選んだと思います。でも、失敗と思って気持ちも揺らいただけで、墨のかすれなど変化がある作品の方が気に入り、それを選びました。

硬筆もなかなか手本通りに整いません。文字の大きさ、中心、行間、余白。何か少し違って全体を収めることに集中しました。葛藤しながら最後までまとめ上げた作品、これでいいと自分で決めて出品しました。

葛藤と納得を繰り返しながらですが、これからも自分の作品の良さを見つけて書いていきたいと思っています。